2015年度 外国語学部スペイン語学科 教育課程表(2010から2013年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

		1年次				2年次						3年次					4年次					卒業				
		1セメスター 2セメスター			3セメス	ター		4セメス	ター		5セメス	ター	,	6セメスタ	y—		7セメス	ター		8セメスタ			要件 単位数			
Ь,		授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位 担任	2百	-111.300
		スペイン語演習 I (A-1)	1	カマチョ ゴンサーレス	スペイン語演習 I (A-2)	1	ナバロ ガリード カマチョ ゴンサーレス	スペイン語演習 Ⅱ (A-1)	1	ナバロ ガリード	スペイン語演習 Ⅱ (A-2)	1 {	エレーロ パロン ナパロ ガリード	スペイン語演習Ⅲ (A-1)	1	ガリード ナバロ	スペイン語演習Ⅲ (A-2)	1	ゴンサーレス エレーロ ガリード ナバロ	スペイン語演習IV (A-1)	1	ゴンサーレス カマチョ		ガリ・ ナノ ゴンサ カマ	ジロ ーレス チョ	
	必	スペイン語演習 I (B -1)	1	カルデロン ベニト エレーロ カマチョ	スペイン語演習 I (B-2)	$\left 1 \right $	カルデロン ベニト エレーロ カマチョ	スペイン語演習 II (B-1)	$_{1}\left\{$	ゴンサーレス リベーラ ベニト エレーロ	スペイン語演習 Ⅱ (B-2)	1	ゴンサーレス リベーラ ベニト エレーロ	スペイン語演習Ⅲ (B-1)	1 {	バロン サンチェス リベーラ ゴンサーレス	スペイン語演習Ⅲ (B-2)	1	バロン サンチェス リベーラ ゴンサーレス	スペイン語演習IV (B-1)	1 {	岩根 二瓶 高垣	スペイン語演習Ⅳ (B-2) 1	岩高高	抵	
	修 科 日 A	スペイン語演習 I (C-1) スペイン語演習 I	1	井垣 高垣	スペイン語演習 I (C-2) スペイン語演習 I	1	片岡 井垣 高垣 新木	スペイン語演習 II (C-1) スペイン語演習 II	1	高垣 梅崎 落合 西田	スペイン語演習 II (C-2) スペイン語演習 II	1	高垣 梅崎 落合 西田	スペイン語演習Ⅲ (C-1)	1 {	本間 西田 梅崎	スペイン語演習Ⅲ (C-2)	1 {	本間 西田 梅崎						3)
	担 学	(D-1) スペイン語演習 I	1	高垣 西田 小倉	(D-2) スペイン語演習 I	1-{	高垣 西田 小倉	(D-1) スペイン語演習 II	1 }	二瓶 森口 高垣 片岡	(D-2) スペイン語演習 Ⅱ	1 }	二瓶 森口 高垣 片岡													38 以 上
甫		(E-1) スペイン語演習 I (F-1)	1 - 1	梅崎 落合	(E-2) スペイン語演習 I (F-2)	1 {	梅崎 落合 岩根 井垣	(E-1) スペイン語演習 II (F-1)	1 {	高垣 安藤 安藤	(E-2) スペイン語演習 II (F-2)	1 {	高垣 安藤 安藤	スペイン語演習Ⅲ (E-1)	, ,	森口	スペイン語演習Ⅲ (E-2)	, ∫	森口二瓶	スペイン語演習Ⅲ (D-1)	1	バロン	スペイン語演習Ⅲ (D-2)	1 /ir	シ	-
1%	選択必修科	(i ⁻ 1)	l	睦月	(F-2)	l	睦月	特修スペイン語 I (A-1)	1	岩根	特修スペイン語 I (A-2)	1	かい お根 グロン	特修スペイン語 II (A-1)	1	米田	(E 2) 特修スペイン語 II (A-2)	1	米田 カルデロン	(D-1) スペイン語演習Ⅲ (F-1) 特修スペイン語Ⅲ (A-1)	1	太田	スペイン語演習Ⅲ (F-2) 特修スペイン語Ⅲ (A-2)	1 太 1 リベ・	8	- ا ا
	目	スペイン概論	2	カマチョ	スペイン概論	9	カマチョ	スペイン史 I	2	深澤	スペイン史 Ⅱ	9	深澤	実務スペイン語 I スペイン語 F スペイン語学研究	1		実務スペイン語 Ⅱ スペイン語学研究	1	松本(ア)	ポルトガル・			ポルトガル・			
科		ラテンアメリカ概論			ラテンアメリカ概論	i 2	和田	ラテンアメリカ史Ⅰ	2		ラテンアメリカ史Ⅱ	2	梅崎	I −1 スペイン語学研究 II −1	2	大田 片岡	I −2 スペイン語学研究 II −2	2	大田片岡	ブラジル語 Ⅱ -1	1/語圏	物野	ブラジル語 Ⅱ -2	1 牧 4 ※		
目	B 選													スペイン研究 I -1 (文学 スペイン研究 II -1 (地域事情	9	四田	スペイン研究 I -2 (文学) スペイン研究 II -2 (地域事情)	2	西田カルデロン							28
	2													ラテンアメリカ研究 I - (文学 ラテンアメリカ研究 II - (現代研究	1 9	育木	ラテンアメリカ研究 I -2 (文学) ラテンアメリカ研究 II -2 (現代研究)	2	青木							上
	群目													ラテンアメリカ研究Ⅲ- (地域事情 ポルトガル・	2	新不	ラテンアメリカ研究Ⅲ-2 (地域事情) ポルトガル・	2	新木牧野							
														ブラジル語 I - ラテン語 I - 1 一般音声学 I 国際協力研修講座	1 2 2	井坂 豊丸	ブラジル語 I -2 ラテン語 I -2 一般音声学 II 国際協力研修講座	1 2 2	井坂 豊丸 小倉 ※1							
	関連科品	情報処理I	2 {	尾子 岡田	情報処理Ⅱ	$_{2}\Big\{$	尾子 岡田	日本語教員養	を成課 しんしょうしん かいしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしゅう しゅうしゃ しゃりん しゃ	果程登録者		化交	流学科開	講の日本語教育研究				4	*1				<u>:</u>			28 以
Ш	Ħ		上記以外の共通科目,他学部他学科開講の専攻科目および「教職に関する科目」											上												

^{※1} 太田, 小倉, 新木, 片岡, バロン, 菊田, カルデロン, 西田 ※2 太田, 小倉, 新木, 片岡, バロン, 菊田, カルデロン, 梅崎

[備 考]

1 ★印は学期変更の授業科目を示す。

[履修要件]

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位(半期24単位)を上限とする(通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する)。ただし、4年次に限り特別の事情のある者は、学部長に申請することにより、卒業要件単位数の不足分を上限として、超過履修を許可される場合がある。なお、卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 A群必修科目の「スペイン語演習 I・Ⅱ」(合計20単位)の修得単位数が14単位未満の者は、3・4年次配当のA群科目を履修できない。

[学外単位認定制度]

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし、2012年度以前の入学者については、各セメスターの履修制限単位数には含めない。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

[卒業要件]

1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目				共ì	通科目	1								
	F	外	教	養	系	科	目	共	A 群		B群	関	専	
入学年度	Y S	7国語科目	キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	健康科学の分野	兴通 科 目 合 計	必修科目	選択必修科目	選択必修科目	奥連科目	等攻科目合計	合計
2010から	2	8	_	4	4	4		3 2	3 0	8	2 8	2 8	9.4	1 2 6
2013年度入学	2	0			1	0		J Z	30	0	28	28	9 4	120

- 2 共通科目「FYS」2単位を修得すること。
- 3 外国語科目を8単位以上修得すること。
- 4 共通科目教養系科目については、次の単位を含めて22単位以上修得すること。ただし、キャリア形成科目の単位は 卒業要件単位に算入しない。
 - (1)人文の分野を4単位以上。
 - (2) 社会の分野を4単位以上。
 - (3) 自然の分野を4単位以上。
- 5 A群から次の単位を含めて、38単位以上を修得すること。
 - (1) 必修科目 30 単位。
 - (2) 選択必修科目8単位。
- B群の選択必修科目から28単位以上を修得すること。
- 7 関連科目から28単位以上を修得すること。
 - 関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 共通科目(外国語科目・教養系科目), 専攻科目A群(選択必修科目)の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程登録者が修得した「教職に関する科目」の単位。(上限6単位)
 - (3) 「英語コミュニケーション特修副専攻」を履修し、修得した単位。
 - (4) 日本語教員養成課程登録者が修得した「国際文化交流学科開講の日本語教育研究科目群」の単位。
 - (5) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

- 教育課程における標準年次の区切線について -

- ① 標準年次が実線 (―――) で区切られている場合, 原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線 (-----) で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件] 等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。